

広報

kouhou tonami

# となみ



庄川と散居に広がる健康フラワー都市  
— 花香り、水清く、風さわやかなまち 砺波 —

No.11



となみ夢まつり

10月号

2005 平成17年

## CONTENTS 今月の内容

特集

男女共同参画 ～あなたの家庭では?～ ..... 2

ケーブルテレビなら安心! ..... 7

イベントレポート ..... 8

ほっとな話題 ..... 10

暮らしの情報・インフォメーション ..... 12

市民カレンダー ..... 18

砺波コミュニティテレビ ..... 20

砺波総合病院から..... 21

みんなの健康・健康カレンダー ..... 26

となみの福祉 ..... 28

体協だより ..... 32

美術館 ..... 33

四季彩館・図書館 ..... 34

イベント情報 ..... 36

# 男女共同参画

## あなたの家庭では？

～市民アンケートの結果より～

平成17年5月、砺波市における男女共同参画の状況を把握するため、「砺波市男女共同参画社会に関する意識調査」（市民アンケート）を行いました。最も基本的な男女の関わりである夫婦、家庭を中心に、その結果を紹介します。これらの結果から、身近にある男女共同参画の課題について考えてみましょう。

### 調査の内容



調査対象	市内の満20歳以上の男女各500人
抽出方法	無作為抽出法
調査方法	郵送（往復）による
回答数	507（男性217、女性278、性別不明12）
調査項目	結婚観・家庭生活・職業・子ども・高齢期・健康・社会参加・地域・慣習・人権・男女共同参画社会

### 結婚観

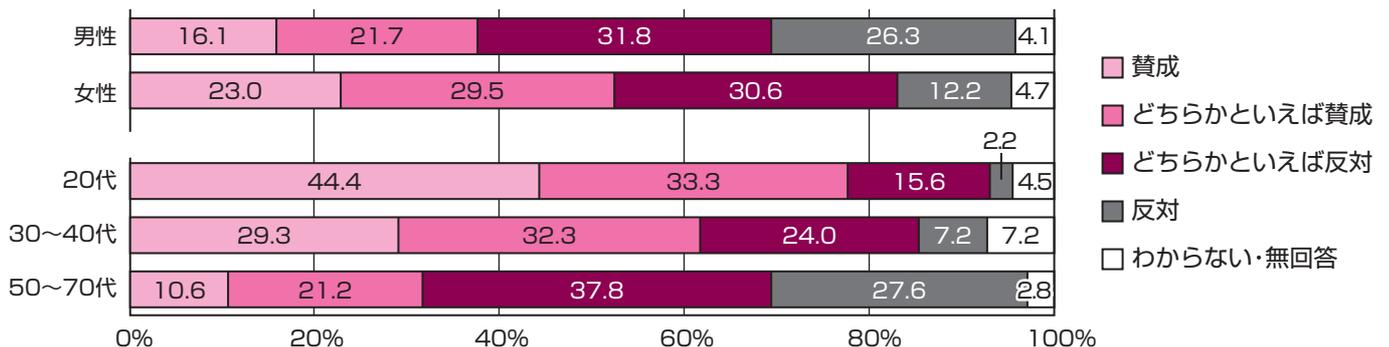
「結婚は個人の自由であるから、してもなくてもどちらでもよい」という考え方について、「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた人の割合は、30～40代では62%、20代では78%と、若い世代でこのように考える人が多くなっています。また、このように考えるのは、男性よりも女性に多くなっています。（図1）

結婚して得られるものについて「身の回りの世話」や「経済的安定」よりもむしろ男女とも「精神的安らぎ」や「人間的成長」といった精神的な充実をあげる人が多く、逆に、結婚で負担に感じることは、「配偶者に対する配慮や親戚づきあいなどのわずらわしさ」に続き、女性では「家事・育児の負担」を、男性では「自由に使えるお金が少なくなる」ことをあげています。

少子化の大きな原因のひとつが未婚化、晩婚化といわれています。将来結婚を考慮するであろう今の子どもたちに、現在の夫婦の姿はどのよう映っているでしょうか。



図1. 「結婚は個人の自由であるから、してもなくてもどちらでもよい」という考え方について





夫は料理を作ってくれたり、洗濯物を干してくれたり、子供のおむつを替えてくれたりして、家事などを手伝ってくれてとても助かっています。これからも、夫婦で協力しあいながら、頑張っていきたいと思います。と語る、安念さんご夫婦(太田)。

### 男女の役割分担意識

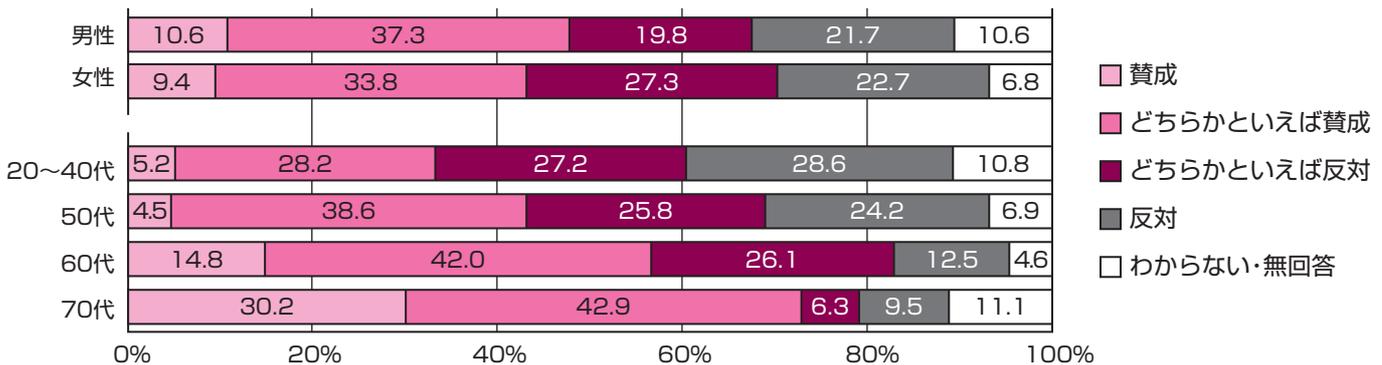


「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」との考えに「賛成」または「どちらかと言えば賛成」と答えた人の割合は、20～40代では34%であるのに対し、70代では73%となっており、このような男女の固定的役割分担意識は、年配の世代で、また、女性よりも男性で強いことがうかがえます。(図2)

外で働きたい女性や、家庭を守りたい男性もいるのではないでしょう。そのような人たちに対して知らず知らずのうちに自分たちの考えを押し付けて、せっかくの個性や能力を発揮する機会を奪ってはいないでしょうか。

性別による役割分担意識が強すぎると、女性の社会進出を阻んだり、男性の生き方を狭めることにつながるといわれています。

図2. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべき





### 家庭での共同参画

「夫も家事・育児をするべきである」との考えには「つきりと賛成」と答えたのは、男性26%に対し、女性では59%と回答に大きな意識の差がみられます。しかし、どちらかといえば賛成を含むと男性も75%が肯定的に答えており、積極的に賛成は出来ないまでも、やはり家庭での男女の協力が必要であると考えていることがうかがえます。(図3)



とはいえ、主に家事を分担しているのは、妻であり、夫が主に分担していると回答があったのは、ごみ出しが30%で、お年寄りの介護、育児、食事の支度、掃除などいずれも5%に満たない回答となっています。(図4)

一方、自分の家庭で自治会や町内会の会合(総会など)に普段出席するのは、男性の場合が87%、女性の場合が8%、出席しない、加入していないが4%でした。家を代表するような場への出席は男性が役割分担している様子がうかがえます。(図5)

図3. 「夫も家事・育児をするべきである」という考え方について

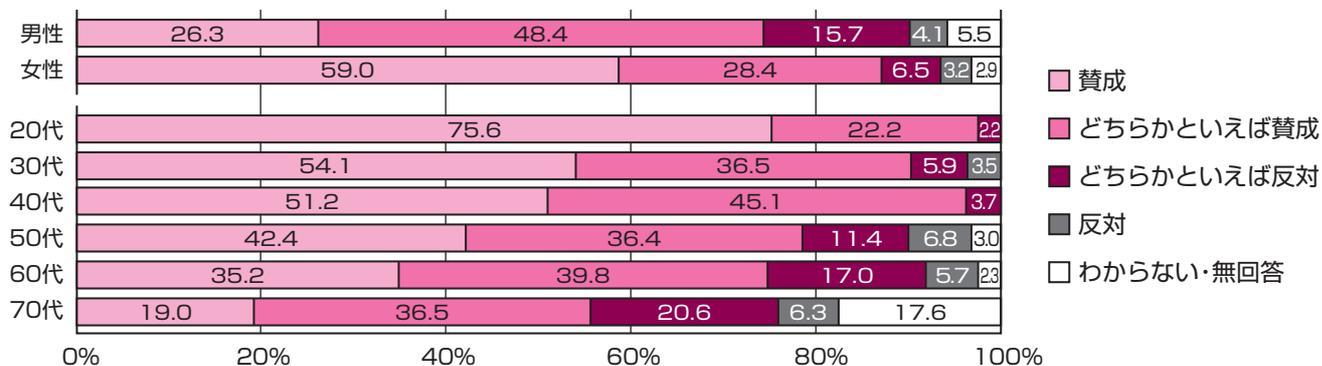


図4. 家事を主に分担している者(配偶者のいる方にお聞きしました)

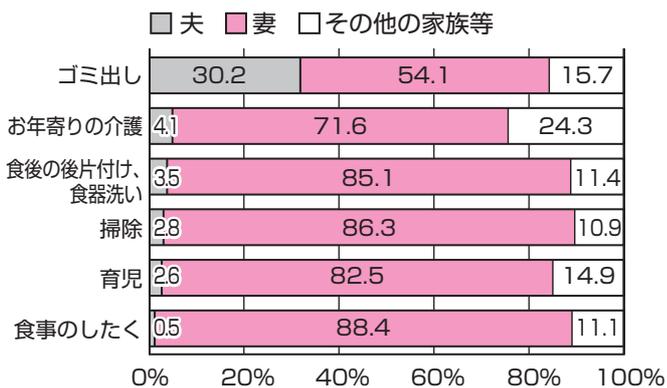
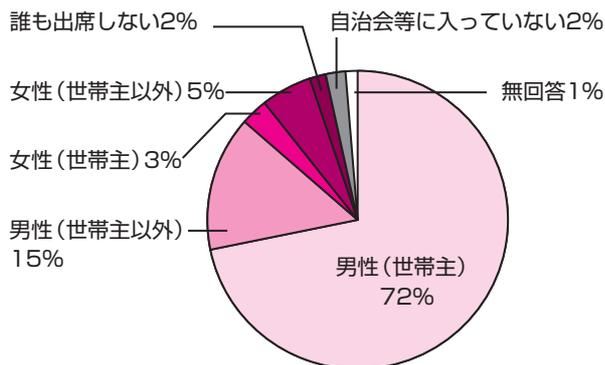


図5. 自治会等の会合に普段出席する者





頑張っています！

### 砺波市男女共同参画推進員



砺波市では、現在、45人（男性20人、女性25人）が推進員として活動しています。

研修会や月1回の全体会などを通じて学習を重ね、男女共同参画に対する理解を深めてきました。

自分たちが学んだことを今度は地域の皆さんに楽しくお伝えしようと、現在寸劇に取り組んでいます。

「サザエさん家の男女共同参画」と題して、10月23日開催の推進フォーラムで披露します。

また、地元推進員が中心となって地区啓発活動にも取り組んでいます。仕事や地域活動、家事などそれぞれ忙しい合間を縫っての推進活動ですが、男女共同参画社会の実現を目指して頑張っています。

家庭生活における男女の地位の平等感については、69%が「男性のほうが優遇されている」または「どちらかといえば優遇されている」と答えています。女性ばかりでなく、男性も自分たちのほうが優遇されていると感じている結果となっています。

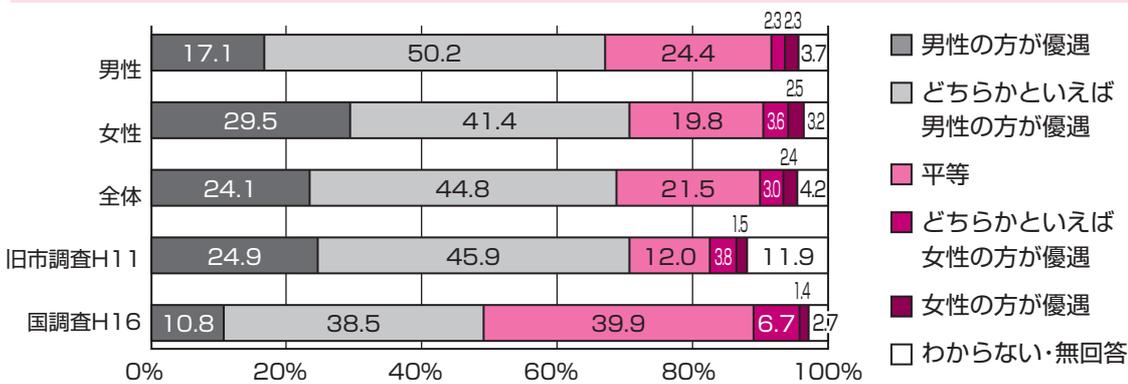
今回の調査では、平成11年に実施した旧砺波市での調査に比べ、「平等である」と答えた人が若干増えています。しかしながら、全国調査に比べると「男性のほうが優遇されている」と答える人が多く、依然として不平等感があることがうかがえます。（図6）

共働きが多い砺波市では、家庭での男女共同参画は重要な課題のひとつではないかと思われます。

アンケートでは、「今後、男性が女性とともに家事・育児・介護などに積極的に参加していくため

## 家庭生活における男女の地位の平等感

図6. 家庭生活における男女の地位の平等感



に必要だと思うこと」について、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」との回答が最も多くなっています。皆さんのご家庭ではいかがでしょうか。

- 戦時の人間ですので、男の方は女の人のする家事等するのはもつてのほかと思っていました。息子の食事の手伝い等見ていると、やっぱりいいものだ、助かるなあと思うようになりました。やはり共同参画とは昔のように女が苦勞した時代とは違い有り難いものと見ております。（70代女性）
- 子どもを持った女性の社会参画は非常に難しい。ある程度子育てが終わった後でも不公平なく社会に受け入れられるようになってほしい。と娘が言っています。（60代男性）
- 女性自身の意識を変え、もっと積極的に行動するようにすべきだと思います。（60代男性）
- 男性にも女性にもそれぞれ特徴や得意、不得意はあるし、個人的にも違いがあつて当然だから、それを生かした役割分担や配慮があつてこそ世の中はうまくいくと思う。（40代女性）
- 古い考えを持った人達ですべて決めるのではなく、新しい考えを持った若い男女を積極的に起用していけばよいと思う。老若男女でお互いの意見を聞き、受け入れる姿勢も必要だと思う。（20代男性）
- 富山県は男性優位な社会だと思ふ。外の空気もすつて、いいものを取り入れてほしい。（40代女性）

## こんな意見がありました



### 男女共同参画社会を めざしての取り組み

21世紀に私たちが目指すのは、男女の人権が尊重され、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会です。

砺波市では、このような社会の実現を目指し、市民、事業者等みなさんとともに、男女共同参画の推進を図っていききたいと考えています。

今後、さらに少子高齢化や核家族化が進むことが予測されており、家庭をはじめとして、地域、職場などあらゆる場で、従来の男女の役割分担にとらわれない協力がますます必要になってくると思われます。

大切なことは、「男だから」「女だから」の枠に縛られないで、それぞれの個性と能力を発揮し、また、男女が対等なパートナーとして、自分たちのまちを住みよく築いていくことではないでしょうか。市では、10月23日に「砺波市男女共同参画推進フォーラム」を開催します。皆さんとともに砺波市の男女共同参画について考えていきたいと思っています。ご参加をお待ちしています。

## 砺波市男女共同参画推進フォーラム

男女共同参画について一緒に考えてみませんか？

**と き** 平成17年10月23日(日) 午後1時30分～4時 [開場：午後1時]

**と ころ** 庄川生涯学習センター（庄川ふれあいセンター）ホール

皆様のご来場をお待ちしています。

#### 主な内容

- オープニング 合唱 青島保育所園児
- 寸 劇 「サザエさん<sup>ち</sup>家の男女共同参画」 出演：砺波市男女共同参画推進員
- 講 演 「共働き夫婦の日常生活で発見できるジェンダー・バイアス」  
講師：スコット・ノース氏  
(大阪大学大学院人間科学研究科助教授)  
1955年生まれ 大阪府吹田市在住  
カリフォルニア大学バークレー校卒業



**主 催** 砺波市、砺波市男女共同参画推進員連絡会

**問 合 せ** 砺波市行政管理室 内線206

男女共同参画に関するお問い合わせは、行政管理室 ☎33-1111(内線206)まで



# 2011年7月24日



# すべてのテレビはデジタルへ

地上デジタル放送は、2003年12月1日から、関東・近畿・中京の3大広域圏で、開始されました。富山県内では、2004年10月1日にNHKと民放1局で放送が開始され、他の局も来年10月までの放送開始に向けて準備を進めています。

国は6年後の2011年7月に、すべてのテレビ放送を、地上アナログ放送からデジタル放送に移行することを法令で定めており、今お使いのテレビ(アナログテレビ)では、視聴することができなくなります。

それ以降はテレビをご覧になるためには、ご家庭にある全てのテレビを地上デジタルテレビに買い換えるか、デジタルチューナーを買い足す必要があります。



デジタル未対応の家・共同アンテナ受信団地の場合

## しかし・・・ケーブルテレビなら安心!

デジタル対応テレビも使えるし、今までのテレビも使えるし、ケーブルテレビに加入してよかったわあ!



デジタル対応の家(ケーブルテレビ導入の家)の場合

その点、ケーブルテレビに加入されていれば、今お使いのテレビのままデジタル放送がご覧いただけるので、移行の時期になってもあわてることなく安心です。

また、市の広報番組「砺波コミュニティテレビ」(2ch)や、となみ野の情報満載の「TSTコミュニティチャンネル」は、砺波地域の生活情報番組として好評を得ています。

さらに、市ととなみ衛星通信テレビ(TST)とは、「災害緊急放送に関する相互協定」を締結し、災害時には市民の生活安全確保に関する情報を提供するようにしています。

娯楽番組から行政情報、地域情報、災害情報と、多彩な情報をタイムリーに手軽に得られるケーブルテレビにどうぞご加入下さい。

お問い合わせ

  
砺波広域圏事務所

砺波市役所内  
☎33-1111(内線443)

 **となみ衛星通信テレビ** TEL.0763-22-7600 FAX.0763-22-7601  
IP電話『けーぶるふぉん富山』050-2525-0002  **0120-476-764**

広報情報課広報情報係 ☎内線222 FAX33-5325 E-mail koho@city.tonami.lg.jp

8/20

9/19



## 震度6の地震を想定して！

～砺波市総合防災訓練～

9月4日、砺波市総合防災訓練が、高波農村公園周辺で行われました。訓練は、県、市、消防署、消防団、自衛隊、北部地区住民、高波防災会、ボランティアなど25機関、約600名が参加して、皆さん真剣な表情で取り組みました。

今年は、砺波市で初めて自治振興会単位で設立された自主防災組織の高波防災会と消防機関が連携し各種の訓練を実施しました。

参加者は、バス多重衝突事故を想定した救出・教護訓練をはじめ、高波幼稚園児による初期消火訓練、バケツリレー、炊き出しなど様々な訓練を行いました。

現在、砺波市では、新市防災計画を策定中です。皆さんも日頃からの防災に対する意識を高めていきましょう。「お忘れなく！」



森村泰昌のセルフポートレート展



版画のときめき2005年

## 素晴らしい作品が来館者を魅了しています！

～森村泰昌のセルフポートレート展・版画のときめき2005年～

9月17日から、砺波市美術館では森村泰昌のセルフポートレート展（10月16日まで）、庄川美術館では版画のときめき2005年（10月23日まで）が、それぞれ好評開催中です。セルフポートレート展は森村さんが女優などになりきって撮ったモノクロ写真93点が展示されています。版画のときめき2005年は、富山県西部の版画作家約40名の新作などが一堂に展示されています。皆さんのお来館をお待ちしています。